

君がその去就を誤らざらん事を望む。

(二)

今回の紛議勃発の原因は遠く大正八年頃より胚胎せるものなるが、その近因は實に車輛組合が依然として労働運動の逆流に走りつゝあるを見て黙止するを得ず、敢然と共済組合の桎梏を打ち破つて新らしき労働組合運動の本流に立つ、日本労働總同盟に加入し關東鐵工組合本所支部を設立するに至つた。

そこで我々大阪工場の労働者を以つて組織する、大阪機械労働組合西支部聯合會は車輛工組合との提携を断ち、本所支部と固き握手をする事にしたのである。

(四)

かゝる車輛工組合と本所支部との間に横たはる溝は益々深くなつた、舊誠陸會が戰闘的労働組合となつた事を知つた車輛工組合幹部は、本所支部員の安藤、向井兩氏を車輛工組合發展の邪魔になるとして會社に解雇せよと迫つた、本所支部は安藤、向井兩支部員の解雇要求に當然反對した。

(五)

安藤、向井兩氏解雇の要求は拒絶せられた、車輛工組合は飽くまで兩氏の解雇の目的を貫徹すべく數日に渡つて怠業し、反つて幹部十七名を餓首せられた。

本所支部は直ちに協議會を開き、車輛工組合が二氏の解雇要求を撤回すれば、十七名解雇の理由を會社に訊しその復職に努力する事を決議し之を一般に聲明した。

然るに車輛工組合は依然として態度を改めず、五月二十八日正式に十七名を復職せしめ、安藤、向井兩氏を解雇せよと要求して容られず、直ちに同盟罷業を決定した。

(六)

本所支部は支部員安藤、向井兩氏の解雇要求を含んだ此の罷業に反對した。

親愛なる兄弟諸君！我々が唯一の武器であるストライキを敢行する時は、主として資本家階級と戦ふ場合であつて。時に又、労働運動を妨害し労働階級の利益を傷ける者を排斥する時に行ふ事なきにあらざるも。今回の如き安藤、向井兩氏の排斥は單なる車輛工の組合利己心からの排斥である、かゝる仲間同志の喧嘩や兄弟同志の排斥の爲にストライキは決してすべきものではない。

同一利害の下にある兄弟同志が相争ふ事は、結核お互仲間の不利益を招き資本家に漁夫の利を與へることになる、今回の十七名の餓首は明らかに之を物語つて居るではないか。

(七)

東京工場の諸君、大阪工場の我々は諸君が一日も早く此の無意義のストライキを打切つて就業し、更に新らしく陣容を完備せられん事を望むものである。

かつて本工場の我々も一時機械聯合の様な組合を作つた事があつたが結果は駄目であつた、そこで大正十年に更めて日本労働總同盟に加入して今の大阪機械労働組合を作つたのである。諸君も又今回の事件によつて多くの教訓を與へられた事と思ふ、我が敬愛する諸君、諸君は此際靜かに考へて呉れ。そして諸君が行くべき道をハッキリと決めて呉れ。

我々は、諸君が直ちにこの無意義な争議を打切つて就業し、本工場の我々と將來熱き握手を交すべく本所支部の旗下に強固なる團結をなさるゝ事を固く信ずる。

大正十二年六月十日

日本労働總同盟

大阪機械労働組合

西支部聯合會

東京工場作業手諸君